

予防救急を心がけましょう!!

事故を未然に防ぐ取組を「予防救急」と言います。

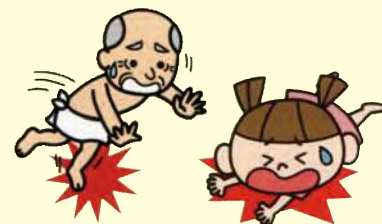
ご自宅内で起きる事故の中には「ほんの少しの注意」や「事前の対策」で防げることがあります。事故の原因を知って、未然に防ぎましょう!!

高齢者と子供に多い事故は・・・

転倒

風呂場、段差、洗面所段差、玄関、廊下など

- 段差につまずかないよう気をつけましょう
- 少しの段差や濡れた床などで転ぶ可能性があります。
- 転倒を防ぐために整理整頓を心がけましょう。
- 階段、廊下、玄関、浴室など滑り止め対策をしましょう。



転落

階段、ベッド、脚立、椅子、窓、ベランダなど

- 階段などには手すりを配置しましょう。
- ベッドにも転落防止の柵をつけましょう。
- 脚立などを使用して作業をする時は補助者に支えてもらいましょう。
- 転落防止の柵をつけたり、踏み台になるものを置かないようにしましょう。



窒息・誤飲

食物(餅・肉等)、薬等の包装、たばこ、電池など

- 細かく調理。ゆっくりよく噛むことで窒息予防
- お茶などの水分を取りながら食事をしましょう。
- 急に話しかけて、あわてさせないように気をつけましょう。
- 飲み込めそうなものは、子供の手に届くところには置かないように注意しましょう。



ぶつかる

家具、人、柱、ドア、机の角、テーブルの角など

- 慌てず、周りをよく見て行動しましょう。
- 通路などに物を置かないようにしましょう。
- 暗いところは十分な明るさを確保しましょう。
- 角の部分はやわらかいもので保護しておくなど、ぶつけてもいいように工夫しましょう。



そのほか子供に多い事故は・・・

ひっかける



ブラインドの紐、
水筒のストラップなど

手の届かないところに置き、
ひも付きのものは外して遊
ばせるようにしましょう。

やけど



アイロン、熱い飲みものなど

やけどのおそれのあるものは
子供の手の届かないところへ
置くようにしましょう。

おぼれる



風呂場の水、
ビニールプールなど

水深が浅くても溺れます。
少しの時間でも目を離さない
ように注意しましょう。